

会議録

会 議 名	令和元年度 第1回 八王子市高齢者あんしん相談センター運営部会
日 時	令和元年7月19日(金) 午後3時00分～4時30分
場 所	職員会館 第1会議室
出 席 委 員	和氣純子会長、添石遼平副会長、小池公江委員、田中泰慶委員、羽賀千恵委員、松浦明美委員
オブザーバー	大井センター長(高齢者あんしん相談センター片倉)、大家センター長(高齢者あんしん相談センター中野)
関 連 部 署 説 明 員	福祉部長 石黒、介護保険課課長 吉本
説 明 者	
事 務 局	高齢者福祉課長 野田、高齢者福祉課主査 半田、高齢者福祉課主任 荻原
欠 席 者	
公開・非公開 の 別	「公開」
傍 聴 人 の 数	なし
次 第	<p>1 開会 会議の公開・非公開について</p> <p>2 議題 平成30年度(2018年度)基幹型地域包括支援センター自己評価について</p> <p>3 報告 (1) 平成30年度(2018年度)高齢者あんしん相談センター自己評価結果について (2) 平成30年度(2018年度)高齢者あんしん相談センターの各種事業等について</p> <p>4 その他事務連絡</p> <p>5 閉会</p>
配 付 資 料 名	<p>【事前送付資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 平成30年度(2018年度)基幹型地域包括支援センター自己評価票 ・2 平成30年度(2018年度)高齢者あんしん相談センター自己評価ヒアリング集約 ・2-2 平成30年度(2018年度)高齢者あんしん相談センター自己評価集計表 ・3-1 平成30年度(2018年度)高齢者あんしん相談センター相談実績 ・3-2 平成30年度(2018年度)高齢者あんしん相談センター各種実績 <p>参考 平成30年度高齢者あんしん相談センター自己評価票(17センター分)</p> <p>【当日配付資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・意見書 ・平成30年度(2018年度)高齢者あんしん相談センター自己評価票(原本)

会議録

1 開会

【高齢者福祉課主査】 令和元年度 第1回高齢者あんしん相談センター運営部会を開催する。
本日の高齢者あんしん相談センターオブザーバー参加は、高齢者あんしん相談センター片倉の大井センター長、中野の大家センター長となる。
資料の確認をする。何か不足資料はないか。

次に、公開・非公開について、八王子市社会福祉審議会条例施行規則第4条及び八王子市附属機関及び懇談会等に関する指針12に基づき、原則公開となっている。また、公開することが適当でないとき認めるときは非公開の決定を行うことになっている。

今回の会議については、公開とする。

ここからの進行は、要綱第3条第2項に基づき、会長にお願いする。

【和氣会長】 本日の出席委員は6名で、過半数を超えているので、本部会運営要綱第5条に基づき、本会議の開催要件は満たしている。

なお、本日、傍聴人はいるか。

【高齢者福祉課主査】 いない。

2 議題

【議題：平成30年度（2018年度）基幹型地域包括支援センター自己評価について】

【和氣会長】 次第に沿って議事を進める。【議題：平成30年度（2018年度）基幹型地域包括支援センター自己評価について】事務局から説明をする。

【高齢者福祉課課長】 平成30年度基幹型地域包括支援センター事業計画書兼自己評価票を手元に用意を。

平成30年度の基幹型地域包括支援センターの取組について、自己評価を行ったものになる。時間の都合上、特に力を入れていることや、評価をA以外にしたものを中心に説明する。

1.総合相談支援業務については、予定どおり実施できたため、個別項目、総合評価ともにAを付けた。

2.権利擁護業務については、すべての取組についてA、総合評価もAを付けた。中でも、高齢者虐待防止に関しては毎年、介護事業者や高齢者あんしん相談センター職員を対象とした研修を実施した。平成30年度は全8回開催し、延747人の参加があった。今後も継続して研修を実施し、高齢者虐待への対応力の向上に努めていく。

3.包括的・継続的ケアマネジメント支援業務については、自己評価はすべてAを付けた。センター職員の多機関との連携支援として、多機関との合同研修会を開催している。平成30年度は特別養護老人ホーム相談員との合同研修「地域づくり」をテーマに、双方の好事例の紹介、取り組みに対するグループワークを実施し、両者の相互理解の支援を行った。

今年度は、介護老人保健施設相談員との合同研修を予定しており、今後も様々な機関との合同研修を開催する予定でいる。

4.地域ケア会議については、一部Bとし、総合評価もBとした。

Bを付けた項目はケア会議に関する研修と、地域課題の整理となる。

会議録

会議の内容

地域課題の整理については、昨年度地域ケア会議全体の運営方法を見直したことから、今年度にかけて整理を行っているため、一部実施しなかったとの評価にしている。次回、8月に予定している高齢者福祉専門分科会で議題とする予定。また、研修については、昨年度地域ケア会議運営マニュアルを整備し、運用方法を変更したことから、研修を見送ったためBとした。今年度は変更後の会議実績から見えてきた課題等に対応できるような研修の実施を予定。

5.第一号介護予防支援事業と6.在宅医療・介護連携の推進については、個別・総合ともにAとした。

平成30年度に試行実施をしていた総合事業における訪問C「食楽訪問」について、医療関係者等への周知をした。今年度は必要に応じてケアマネへの周知を図っていく。

また、高齢者福祉専門分科会で配布したが、総合事業のパンフレットの改訂や、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するために、必要な情報を集約、提供するウェブサイト「地域包括ケア情報サイト」を8月に開設した。

7.認知症施策の推進については、認知症地域支援推進員向けの研修を実施できなかったためC、総合評価はBとした。平成30年度は、市内4か所の図書館での認知症関連図書展示を実施したほか、認知症カフェわたぼうしが中央図書館において「幸齢者サロン」として朗読会等を開催した。

認知症当事者の方の講演を中心とした「eまちサミット」等も開催した。

同イベントは、企画段階から当事者と認知症推進員が協同して運営。

今年度は、初期集中支援事業の事例検討等により認知症推進員向けの研修を実施する予定。

8.生活支援体制の整備、9.介護予防普及啓発事業については、各項目、総合評価ともにAとした。

前年度に引き続き「助け合い活動講座」を4回開催し、住民主体による訪問型サービス提供団体の担い手養成を行い、新たに8団体が登録し、18団体となった。また、造形大学と連携した団体のPR動画の作成も継続して行い、新たに4団体の動画を作成した。

今年度は第2層生活支援コーディネーターを8名から4名増員し、12名の体制で、生活支援体制整備の強化を図る。

10.その他業務については、各項目、総合評価ともにAとした。

平成30年度は、今年度から本格実施となった訪問C「食楽訪問」の評価検証における事例紹介を含む口腔・栄養に関する包括職員向けの研修を実施し、包括職員のスキルアップを図った。

説明は以上、審議をお願いする。

【和気会長】

内容について、意見・質問等あるか。

認知症初期集中事業研修が少なかった理由はなにか。

推進委員の具体的活動状況、業務内容について。

【高齢者福祉課課長】

土地柄、包括と病院との繋がりが深く、初期集中を利用せずに医療に繋がっている。現在課題を含め検討中。8月推進委員との会議にて詰めていきたい。

会議録

会議の内容

- 【和氣会長】 予算的な動きについて。
- 【高齢者福祉課課長】 事例が動かないと予算は動かない。
- 【和氣会長】 推進委員の役割はどのようになっているか。
- 【高齢者福祉課主査】 eまちサミットの企画等にも携わってもらっている。
- 【和氣会長】 推進委員の役割に混乱はないか。
- 【高齢者福祉課主査】 個の職員よりセンター全体で担っていく仕組みにしている。
- 【田中委員】 初期集中が3件は少ないと捉えるが、プロセスに問題があるのか。
- 【高齢者福祉課主査】 選考して医療機関と繋がっている。初期集中の利用に時間がかかっている。利用に要する時間の短縮等、仕組みの見直しの必要性を感じている。
- 【田中委員】 若年性認知症の支援をどのように考えるか。
- 【高齢者福祉課課長】 東京都多摩若年性認知症総合支援センターと連携している。若い方は高齢者窓口に来ないため今後検討であるが、東京都多摩若年性認知症総合支援センターに繋ぐようなご案内をしている。
- 【和氣会長】 専門的にはどういうニーズがあるのか、東京都多摩若年性認知症総合支援センターから聞き取り、有効な使い方もあるのではないかと。
- 【高齢者福祉課課長】 認知症か精神疾患かの診たてが難しい。地域で事業ができれば支援方法も広がる。
- 【和氣会長】 家庭訪問も可能であるか。
- 【高齢者福祉課課長】 可能である。
- 【和氣会長】 プロセスの検証をしてほしい。
- 【羽賀委員】 初期集中は医療関係者も含むチームで介入するのか。
- 【高齢者福祉課課長】 そのとおりである。
- 【羽賀委員】 家族の支援も含めた支援をして欲しい。
- 【松浦委員】 若年性の人数把握はしているか。
- 【高齢者福祉課課長】 していない。
- 【松浦委員】 50歳くらいだとデイ等も行きづらく引きこもりになりがち。はざまの方のサービスを八王子市としてどうとらえていくか。包括だけでは難しい。
- 【高齢者福祉課課長】 東京都は区部1つ、多摩1つの支援センターがある。就労支援も含めた相談ができるので、八王子市は多摩若年性認知症総合支援センターへ繋いでいる。
- 【和氣会長】 若年性認知症の方は、包括に相談してよいのか、どこに相談すればよいか啓発的な取り組みが必要。
- 【高齢者福祉課課長】 ケアパスの見直しの時期で、若年性認知症について、状況確認後プラン等の追加を検討。
- 【和氣会長】 地域ケア会議について、今後の予定は決定しているか。
- 【高齢者福祉課課長】 8月に地域ケア推進会議の予定になっている。
- 【和氣会長】 他自治体だが、昨年は精神疾患、今年は身元引受人のいない方の入院についてをテーマとしているところがある。
- 【田中委員】 地域ケア会議に必要なスキルは各センターにあるのか、把握はできているか。
- 【高齢者福祉課主査】 センターごとに強い取り組みがあると思う。全体的なスキルアップは、センターの要望を聞き取りながら行っていく。

会議録

- 【田中委員】 地域ケア会議のスキルアップに注力して行うべき。基幹型として指導していくべきと思う。今後必要な力となり活性化につながる。
- 【和氣会長】 以前、ケアマネに地域ケア会議があることを知らないと聞いたことがある。包括だけでなく、地域の方にも周知が必要。
- 【松浦委員】 以前も同じ話が出た。
- 【和氣会長】 主任ケアマネ、民生委員等との情報共有の仕組みが必要。来年度は課題がわかるような書式にして欲しい。
- 【高齢者福祉課主査】 変更する。
- 【和氣会長】 ほかに質問等はあるか。
- 【全員】 ない。

3 報告

【報告(1)：平成30年度(2018年度)高齢者あんしん相談センター自己評価結果について】

- 【和氣会長】 次第に沿って進める。【報告(1)：平成30年度(2018年度)高齢者あんしん相談センター自己評価結果について】事務局より説明する。
- 【高齢者福祉課長】 資料2-1を手元に用意を。各センターから提出された自己評価票と、6月下旬に実施したヒアリングから、好事例をまとめたものになる。
- 各センターとも工夫を凝らしながら事業を実施しているが、すべてを説明する時間がないので、いくつかをピックアップして説明する。
- 7番、センター長沼では、介護保険を初めて利用されるに向けて、介護保険サービス導入までの流れを動画でわかるDVDを作成した。映像を見ながら説明するため、文字だけよりも理解が図れる、不安な気持ちが軽減される効果が期待できる。サービスが入るまでにケアマネ等が様々な調整をしていることやヘルパーの仕事も知ってもらえる内容になっている。また、新人ケアマネの研修にも利用できるような構成になっている。
- 裏面を参照。12番、センター長房では、相談を受けた方をリストで整理し、どのような希望があるのかを見える化している。これによって、センターが実施する事業等にそのリストの中から直接お声掛けや案内を渡す等しており、市民のニーズを的確に把握し、希望に沿った事業案内を行っている。
- 資料2-2を参照。全センターの自己評価結果を一表にまとめたものとなる。概ねA評価となっているが、一部B評価をしているところもある。
- B評価については、評価者が自戒の意味を込めてBを付けており、各々次年度以降の取組で改善を行う予定。
- 報告は以上。
- 【和氣会長】 内容について、意見・質問等あるか。
- 【田中委員】 総合評価はどうなっているか、来年度に向けての課題が読めない。ヒアリングの結果をわかりやすくまとめていただきたい。
- 【小池委員】 Bの多い、中野の様子を聞きたい。
- 【中野センター長大家】 法人の変更、センター移転があり影響している。新センターになり、訪ねてくる方が多くなった。場所の周知はでき根付き始めている。

会議録

会議の内容

- 【田中委員】 この書式からだとそういった理由も読めない。
- 【高齢者福祉課課長】 課題を次年度の計画になるような書式に変えたい。
- 【和氣会長】 包括ごとの高齢者人口や認知症人数等の情報も盛り込むと見やすいものになる。
- 【田中委員】 大変だとは思いますが、わかりやすくまとめてほしい。
- 【高齢者福祉課課長】 わかりやすくを今後検討する。
- 【松浦委員】 元八王子B評価の理由はなぜか。
- 【高齢者福祉課主査】 情報ケアサイトが活用できずにB、社会資源の周知が出来ずでB、グリーンタウンにアウトリーチできずにB、総合的にBとしたと聞いている。
- 【和氣会長】 市としてAでもよいと感じているか。
- 【高齢者福祉課主査】 Aでもと感じたが、自己評価を尊重した。
- 【添石副会長】 基幹型の自己評価に、各センターの自己評価を含めたうえでの評価はあったか。
- 【高齢者福祉課主査】 今年度の自己評価には入ってなかった。
- 【和氣会長】 基幹型が機能しなかったので、センターがうまく機能しなかったのか。
- 【田中委員】 センターが抱えている問題に基幹型がどうサポートしたか今回のヒアリングではわからない。
- 【和氣会長】 センターの自己評価の後に、基幹型からのコメント欄のようなものがあるとよいのではないか。
- 【田中委員】 基幹型が各センターをサポートして、地域の高齢者がより良いサービスを受けられることがベストである。
- 【添石副会長】 各センターの自己評価後に基幹型の評価をしているか。
- 【高齢者福祉課主査】 基幹型は各センターの評価を加味して行っているが、あまり見えていない。
- 【添石副会長】 基幹型の自己評価がセンターとリンクしているように感じなかった。
- 【田中委員】 センターのことを法人が把握しているかを懸念している。
- 【高齢者福祉課課長】 法人に自己評価表をセンターをアピールするツールとして使ってほしい。地域にも自慢できるツールにもしてほしい。
- 【和氣会長】 本来は地域等でも共有できるものだと良い。リンクを来年度の課題に検討してほしい。
ほかに質問等はあるか。
- 【全員】 ない。
- 【報告(2)：平成30年度(2018年度)高齢者あんしん相談センター各種事業等について】
- 【和氣会長】 次第に沿って進める。【報告(2)：平成30年度(2018年度)高齢者あんしん相談センター各種事業等について】事務局から説明する。

会議録

会議の内容

【高齢者福祉課課長】 資料3-1を手元に用意を。平成30年度の各センターにおける相談の実績となる。

前年度と比較して延件数で7,602件、延人数で10,700人の増加。

資料3-2を参照。平成30年度の各種教室等の実績となる。

ケアプランについては、前年度から3,488件増加。なお、ケアプラン作成数の4行目、委託事業所数が右の総合計欄11,115件、前年比で6,032件、118.7%の増となっている。これは、平成29年度までは、介護予防ケアマネジメントにおける委託事業所数がカウント出来ていなかったものが、集計方法を変更したことでカウントできるようになったため、増えたように見えている。実際の事業所数に大きな変化はない。

次に、各種事業実績のうちその他教室研修等について、総合計欄57件、前年比47件、45.2%減となっているが、介護予防教室が37件増となっており、事業区分がその他から介護予防に変わったためと考えられる。

また、その他の事業についても減少傾向にあるが、研修への参加は増加していることから見て、他の事業活動の状況等からくる調整のようなものと考えている。

報告は以上。

【和氣会長】 内容について、意見・質問等あるか。

資料3-1相談実績のべ人数とのべ件数が合わない理由はどうしてか。

【高齢者福祉課主査】 件数集計の整理をしたので、その影響かと思われる。

【添石副会長】 のべ人数の急激な増加理由はどうしてか。

【高齢者福祉課主査】 まだ分析できていない。人数、件数ともに各センターによるカウントの相違がある。

【添石副会長】 資料3-2中野の総プラン数が多い理由はどうしてか。

【高齢者福祉課主査】 人口の関係もあると推測できる。旭町も同様である。

旭町と中野は来年度分割予定。

【和氣会長】 資料3-1長房の苦情が多いのはなぜか。

【高齢者福祉課主査】 分析しきれていない。

【松浦委員】 左入、虐待が多いのはなぜか。

【高齢者福祉課主査】 疑いを含めたカウントもある。延べなので、同じケースで何回も相談があれば増えてしまう。

【高齢者福祉課課長】 虐待の発生自体も多い地域。同居も多く、圏域も広い。

【和氣会長】 ほかに質問等はあるか。

【全員】 ない。

4その他連絡事項

【和氣会長】 連絡事項等を事務局より連絡する。

【高齢者福祉課主査】 第2回の運営部会は11月8日金曜日、時間は今回と同様に午後3時から、場所は未定。開催日近くに開催通知にてお知らせする。

【和氣会長】 オブザーバーから一言いただきたい。

会議録

【片倉センター長大井】 自己評価について計画段階ではこの書式ではなかった。各センターの十分な意図が伝わっていなかったかもしれない。

自己評価に基幹型からのメッセージなどあれば励みになるかと思う。数については、センターごとに規模が違うので、人員等との割合数にするとわかりやすい。

【 和 氣 会 長 】 本日の議題はすべて終了。議事の進行は終了。進行を事務局に戻す。

5 閉会

【高齢者福祉課主査】 本日の会議の中で、言い忘れた点、言い足りなかった点があれば、意見書にて、7月26日（金）までに意見を。

以上をもって、本日の会議は終了とする。

会議録署名人

令和 年 月 日 署名

会議の内容

会議録